

長門の話題



Topics



▲県の無形民俗文化財に登録されている



▲2体の人形「サバーサマ」と「サネモリサマ」

稲の害虫を追い払い、豊作を願う

虫送りの伝統神事サバー送り

7月4日(土)、江戸時代から行われている虫送り神事「サバー送り」が、東深川の飯山八幡宮で行われました。

今年も、6月27日に藤中地区の有志でわら人形を製作。人形には和紙に描かれた顔と神の兜、陣羽織、竹で作られた刀が添えられます。飯山八幡宮で神事が行われた後、今

年の引き受け地区である中山地区の5名により抱えられ、西深川境川方面に向けて出発しました。わら人形はその後、長崎、黄波戸、古市、油谷久寛人丸、河原、伊上を経て下関市豊北町粟野まで運ばれ、最後はぼろぼろになった時点で燃やされたり、海に流されたりすると言われています。

気軽に集い、交流しやすい庁舎利用を目指して

青空テイクアウトの開催

市本庁舎市民広場で青空テイクアウトが始まりました。

これは、市本庁舎建設事業におけるすべての工事が完了したことから、庁舎有効活用の一環として、試行的に実施するものです。実施日時は、毎週水・木曜日10時30分から12時30分まで。市内5〜10店舗の販売店舗が並びます。



▲当分の間、開催される予定

林業および木材産業の成長産業化を図る

一般社団法人リフォレながと

7月1日(水)、一般社団法人リフォレながとの設立総会が開かれました。

これは、林業および木材産業の成長産業化を図ることを目的として設立されたもので、山口県西部森林組合と長門建設業協同組合、長門林産物需要拡大協議会、長門市が出資し、7月1日から始動しました。



▲法人は長門市林業センター2階に設置された

子どもたちの安心・安全を守るために

非接触型体温計の寄贈

6月26日(金)、長門ライオンズクラブから赤外線非接触型体温計が寄贈されました。

これは、新型コロナウイルス

感染症対策に取り組む子育ての現場を支援し、園児・児童・生徒や施設に従事する関係者の健康維持と、感染症の早期発見を目的として市内の

幼稚園・保育園・幼児園・小中学校に簡単に体温が測れる体温計を寄付されたものです。

寄贈された100台の体温計は幼稚園・保育園に30台、小中学校に70台に分けられた後、学校規模に応じて分配されました。

市民の声をしっかりと聞くために

まちづくりミーティング開催

6月29日(月)、市長と協働のまちづくりミーティングが日置支所で開催され、地域づくり団体関係者、自治会関係者ら10人が出席しました。

これは市長が所信表明で述べた重点施策の一つである「市民目線のまちづくり」を進めるために、市民の声を

しっかりと聞く具体的な取組として開催するもので、原則月1回の開催が予定されています。

この日は事業所への支援、地域の子どもたちの安全を守るための活動、交通手段など多岐にわたる意見を交換していききました。



▲新型コロナウイルス感染症の影響で久しぶりの開催



▲長門ライオンズクラブの中原見弘会長らが訪問

英語でおもてなしができるように

観光英会話教室を開催

7月4日(土)、新型コロナウイルス

感染症収束後を見据えたインバウンド受入体制整備の一環として、長門湯本温泉の観光事業者を対象に観光英会話教室が開催されました。

地域おこし協力隊のフィリチャギナ・リーリヤさんが講師を務め、外国人旅行者の接客を想定した英会話の練習を

行いました。

リーリヤさんが、「間違っても大丈夫です。楽しく練習しましょう」と呼びかけると、受講者は身振り手振りを交えながら、あいさつなどの英単語を必死に口に出していました。

英会話教室は、9月まで全12回開催される予定です。



▲楽しい雰囲気の中で行われた

悩みや不安を解消できる駆け込み寺に

田立 智暁さん (宿坊えんとき)



▲非日常を体験してほしいと話す田立さん

山口県初となる、食事や体験ができる宿坊を開いた油谷向津具にある二尊院住職の田立さん。以前から悩み相談を受けていましたが、相談者と信頼関係を築き、本音を話してもらっためには、より長く話を聞く必要があると感じ、それならばと宿泊施設を作ることになりました。

宿坊では、精進料理や滝行などのお寺体験のほかクルージング体験をすることもでき、交流人口の拡大や地域活性化に貢献することにより、文化財を守り伝えることも目的としています。田立さんは、「えんときとは、もつれた縁の糸を解いて、これからの人生を歩むのに必要な縁の糸だけを選んで結びなおすと。滞在している間はずっと癒され、身も心も軽くなっていたきたい。また、体験の拠点としていろんな人が行き交い、経済効果を生み出してほしい」と想いを語ってくれました。



詳細はこちら

▲滝行のほかに護摩行や座禅体験もできる

旬な人

待ちに待った開催

おとずれ夜市じやらんじやらん

7月4日(土)、長門湯本温泉の音信川河川公園を会場に、「おとずれ夜市じやらんじやらん」が開催されました。

この日は久しぶりの開催ということで、地元の人や長門湯本温泉の宿泊客らが多く来場しました。会場では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場入口にアルコール消毒液を設置し、来場者にマスクの着用を促すほ

か、定期的に机やいすをアルコール消毒するなどの予防を徹底していました。

来場者は、やきとりや岩ガキ、サザエなど地元のおいしい食を味わったほか、射的やアコースティックライブなども催され、子どもから大人までの幅広い世代が祭りを楽しみました。

次回は8月1日(土)に開催が予定されています。



▲例年よりも来場者が多いとのこと



▲ステージからは美声が響き渡った